

---

## No.04 入院患者の転倒・転落発生率

---

分子： 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された  
転倒・転落件数

分母： 入院延べ患者数

分子包含： 介助時および複数回の転倒・転落

分子除外： 訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落

---

### 指標の説明

---

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなどさまざまなリスク要因があります。転倒・転落を完全に予防することは困難ですが、その発生を可能な限り防ぐために、リスクを把握して予防に取り組む必要があります。

分母を入院延べ患者数、分子を医療安全管理室にインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数としています。分子には、介助時および複数回の転倒・転落を含みますが、入院患者以外の転倒・転落件数は除外しています。

### 指標の種類

---

【Outcome】

### 考察

---

入院患者延べ数を分母とし‰(パーミル)で表現しているため、値が変動しているように見えますが、各施設ともほぼ一定の割合で転倒・転落のインシデント・アクシデントレポートが報告されていました。調査期間を通して、値が高い病院が見られましたが、転倒・転落件数自体が多いのか、インシデントレポートを提出する基準が他の施設と異なるためなのかに関しては、追加調査が必要かもしれません。分子をインシデ

ント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数としているため、施設のレポート報告体制の違いによって値が異なり、改善活動を推進することで報告件数が多くなる可能性も考えられます。

## 参考文献

---

1. The Joint Commission; The Implementation Guide for the NQF Endorsed Nursing-Sensitive Care Measure Set 2009, version 2.0.  
(Internet: <http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NSC%20Manual.pdf> 2011/03/31 available)
2. 福井次矢監修; Quality Indicator 2010 聖路加国際病院の先端的試み [医療の質]を測り改善するインターメディカ 2010 ISBN 978-4-89996-274-8

## No.04 入院患者の転倒・転落発生率

分子：医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

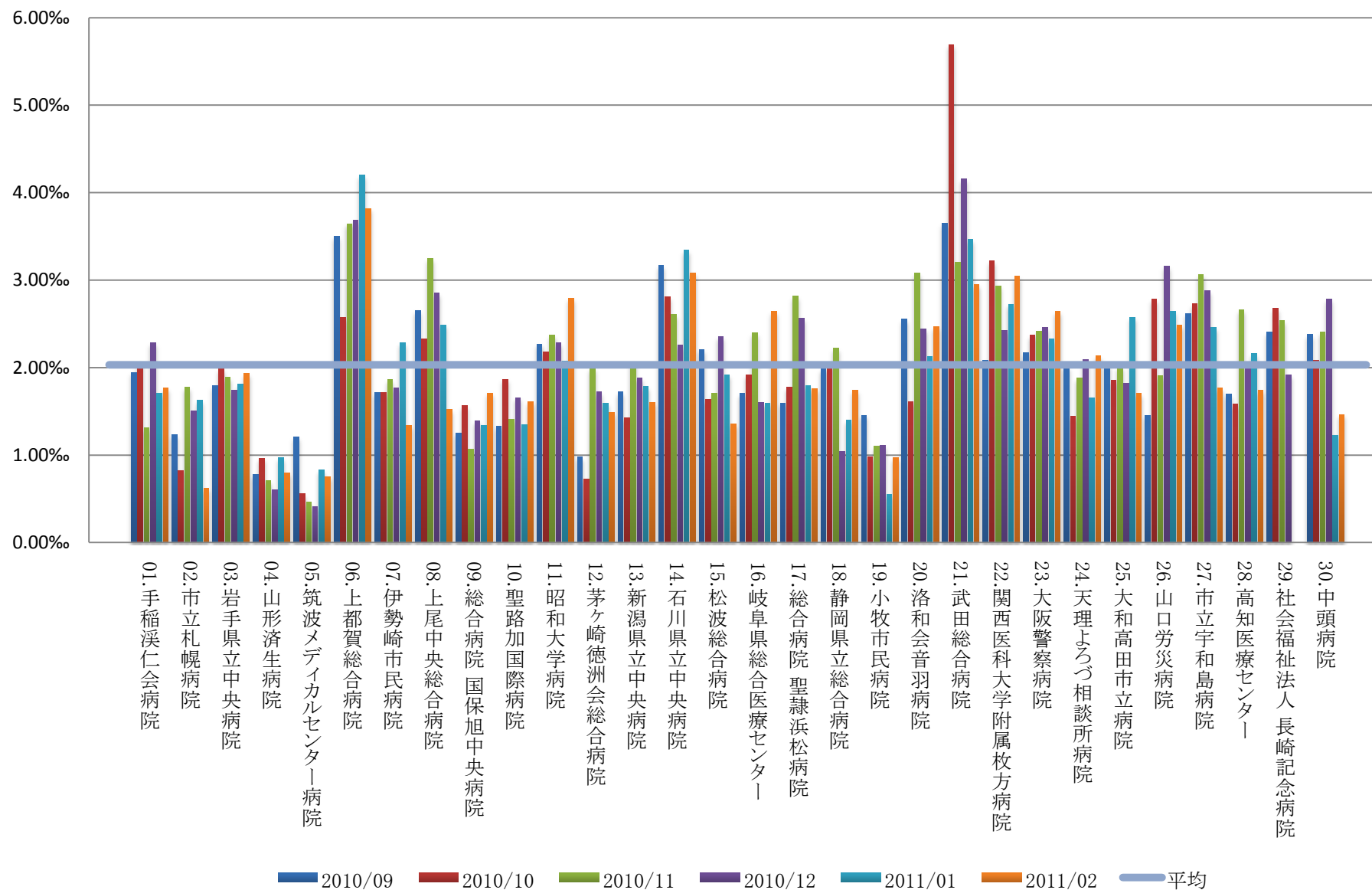
分子包含：介助時、複数回の転倒・転落

分子除外：訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落

分母：入院延べ患者数

施設名	2010/09			2010/10			2010/11			2010/12			2011/01			2011/02			計		
	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合
01.手稲溪仁会病院	14383	28	1.95‰	16438	34	2.07‰	16041	21	1.31‰	15754	36	2.29‰	15857	27	1.70‰	14699	26	1.77‰	93172	172	1.85‰
02.市立札幌病院	18694	23	1.23‰	19375	16	0.83‰	19725	35	1.77‰	19309	29	1.50‰	18474	30	1.62‰	17776	11	0.62‰	113353	144	1.27‰
03.岩手県立中央病院	18439	33	1.79‰	19618	39	1.99‰	17995	34	1.89‰	19530	34	1.74‰	19302	35	1.81‰	18110	35	1.93‰	112994	210	1.86‰
04.山形済生病院	11540	9	0.78‰	11407	11	0.96‰	11296	8	0.71‰	11624	7	0.60‰	11289	11	0.97‰	11312	9	0.80‰	68468	55	0.80‰
05.筑波メディカルセンター病院	10764	13	1.21‰	10680	6	0.56‰	10836	5	0.46‰	12057	5	0.41‰	12092	10	0.83‰	10692	8	0.75‰	67121	47	0.70‰
06.上都賀総合病院	9138	32	3.50‰	9326	24	2.57‰	9328	34	3.64‰	9235	34	3.68‰	9280	39	4.20‰	8377	32	3.82‰	54684	195	3.57‰
07.伊勢崎市民病院	12845	22	1.71‰	14024	24	1.71‰	13982	26	1.86‰	14152	25	1.77‰	13154	30	2.28‰	12670	17	1.34‰	80827	144	1.78‰
08.上尾中央総合病院	15826	42	2.65‰	15880	37	2.33‰	14157	46	3.25‰	15419	44	2.85‰	15268	38	2.49‰	14483	22	1.52‰	91033	229	2.52‰
09.総合病院 国保旭中央病院	21520	27	1.25‰	22321	35	1.57‰	21627	23	1.06‰	21627	30	1.39‰	21653	29	1.34‰	19883	34	1.71‰	128631	178	1.38‰
10.聖路加国際病院	13495	18	1.33‰	13929	26	1.87‰	14193	20	1.41‰	14478	24	1.66‰	14065	19	1.35‰	13630	22	1.61‰	83790	129	1.54‰
11.昭和大学病院	19820	45	2.27‰	20209	44	2.18‰	19800	47	2.37‰	21007	48	2.28‰	19747	41	2.08‰	18648	52	2.79‰	119231	277	2.32‰
12.茅ヶ崎徳洲会総合病院	9167	9	0.98‰	9686	7	0.72‰	9510	19	2.00‰	9293	16	1.72‰	10032	16	1.59‰	8722	13	1.49‰	56410	80	1.42‰
13.新潟県立中央病院	13921	24	1.72‰	13998	20	1.43‰	14043	29	2.07‰	14336	27	1.88‰	14560	26	1.79‰	13763	22	1.60‰	84621	148	1.75‰
14.石川県立中央病院	17052	54	3.17‰	17788	50	2.81‰	16875	44	2.61‰	17274	39	2.26‰	16753	56	3.34‰	15891	49	3.08‰	101633	292	2.87‰
15.松波総合病院	10416	23	2.21‰	11015	18	1.63‰	10553	18	1.71‰	9784	23	2.35‰	10413	20	1.92‰	10319	14	1.36‰	62500	116	1.86‰
16.岐阜県総合医療センター	15217	26	1.71‰	16146	31	1.92‰	15851	38	2.40‰	16223	26	1.60‰	15736	25	1.59‰	15532	41	2.64‰	94705	187	1.97‰
17.総合病院 聖隷浜松病院	20686	33	1.60‰	21377	38	1.78‰	20223	57	2.82‰	21056	54	2.56‰	20601	37	1.80‰	19938	35	1.76‰	123881	254	2.05‰
18.静岡県立総合病院	17618	35	1.99‰	18657	38	2.04‰	17576	39	2.22‰	18223	19	1.04‰	17889	25	1.40‰	16649	29	1.74‰	106612	185	1.74‰
19.小牧市民病院	13735	20	1.46‰	14350	14	0.98‰	13652	15	1.10‰	14418	16	1.11‰	14578	8	0.55‰	13428	13	0.97‰	84161	86	1.02‰
20.洛和会音羽病院	15268	39	2.55‰	15568	25	1.61‰	15246	47	3.08‰	15161	37	2.44‰	15549	33	2.12‰	14579	36	2.47‰	91371	217	2.37‰
21.武田総合病院	12607	46	3.65‰	12997	74	5.69‰	13124	42	3.20‰	13000	54	4.15‰	12994	45	3.46‰	12212	36	2.95‰	76934	297	3.86‰
22.関西医科大学附属枚方病院	19666	41	2.08‰	20812	67	3.22‰	20442	60	2.94‰	20229	49	2.42‰	19088	52	2.72‰	19719	60	3.04‰	119956	329	2.74‰
23.大阪警察病院	15186	33	2.17‰	16043	38	2.37‰	15334	37	2.41‰	16271	40	2.46‰	15920	37	2.32‰	14758	39	2.64‰	93512	224	2.40‰
24.天理よろづ相談所病院	20853	42	2.01‰	21515	31	1.44‰	20728	39	1.88‰	20588	43	2.09‰	19960	33	1.65‰	19667	42	2.14‰	123311	230	1.87‰
25.大和高田市立病院	8348	17	2.04‰	8096	15	1.85‰	7459	15	2.01‰	8241	15	1.82‰	8543	22	2.58‰	8223	14	1.70‰	48910	98	2.00‰
26.山口労災病院	8269	12	1.45‰	8631	24	2.78‰	8394	16	1.91‰	8539	27	3.16‰	8694	23	2.65‰	8055	20	2.48‰	50582	122	2.41‰
27.市立宇和島病院	11462	30	2.62‰	12083	33	2.73‰	12069	37	3.07‰	11800	34	2.88‰	12212	30	2.46‰	11300	20	1.77‰	70926	184	2.59‰
28.高知医療センター	15346	26	1.69‰	15778	25	1.58‰	15778	42	2.66‰	15633	32	2.05‰	15289	33	2.16‰	14380	25	1.74‰	92204	183	1.98‰
29.社会福祉法人 長崎記念病院	7896	19	2.41‰	8218	22	2.68‰	7892	20	2.53‰	7813	15	1.92‰							31819	76	2.39‰
30.中頭病院	10097	24	2.38‰	10561	22	2.08‰	9983	24	2.40‰	10433	29	2.78‰	10584	13	1.23‰	9569	14	1.46‰	61227	126	2.06‰
平均値			1.99‰			2.00‰			2.16‰			2.10‰			2.00‰			1.92‰			2.03‰
中央値			1.97‰			1.89‰			2.14‰			2.07‰			1.81‰			1.74‰			1.98‰
最小値			0.78‰			0.56‰			0.46‰			0.41‰			0.55‰			0.62‰			0.70‰
最大値			3.65‰			5.69‰			3.64‰			4.15‰			4.20‰			3.82‰			3.86‰

## No.04 入院患者の転倒・転落発生率



---

# No.04' 入院患者の転倒・転落による 損傷発生率

---

分子： 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落  
件数のうち損傷レベル 2 以上の転倒・転落件数

分母： 入院延べ患者数

分子包含： 介助時および複数回の転倒・転落

分子除外： 訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落

---

## 損傷レベル

1	なし	患者に損傷はなかった
2	軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	UTD	記録からは判定不可能

- ① 最初の転倒・転落報告が記載される時には、損傷の程度がまだ不明かもしれない。転倒 24 時間後の患者の状態をフォローアップする方法を決める必要がある。
- ② 患者が転倒 24 時間以内に退院する場合は、退院時の損傷レベルを判断する。
- ③ X 線、CT スキャン、またはその他の放射線学的評価により損傷の所見がなく、治療もなく、損傷の兆候及び症状もない場合は、“1 なし”を選択する。
- ④ 凝固障害のある患者で、転倒の結果血液製剤を受ける場合は、“4 重度”を選択する。

## 指標の説明

---

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなどさまざまなリスク要因があります。転倒・転落を完全に予防することは困難ですが、その発生を可能な限り防ぐために、リスクを把握して予防に取り組む必要があります。万が一転倒や転落が起こったとしても、患者に及ぶ影響を最小限にすることが重要です。

分母を入院延べ患者数、分子を医療安全管理室にインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル 2 以上の転倒・転落件数としています。転倒・転落の損傷レベルについては The Joint Commission の定義を使用しています。分子には、介助時および複数回の転倒・転落を含みますが、入院患者以外の転倒・転落件数は除外しています。

## 指標の種類

---

【Outcome】

## 考察

---

「No.04 入院患者の転倒・転落発生率」と比較すると、調査期間中に指標値が減少傾向にある施設が多くありました。他施設に比べてかなり値の高い施設が 1 施設あり、背景要因について今後調査が必要と思われる。各施設においてさまざまな取り組みがなされていて、その効果が反映されやすい指標と考えられます。

インシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベルが 2 以上の件数の割合が 6.5～100%と施設によって大きく異なります。レポートの報告体制の違いに加えて損傷レベルの判断に主観が入ることがあり、データの精度・信頼性については今後さらに検討する必要があります。

また、患者に影響がない転倒・転落件数を、最初からインシデント・アクシデントレポートとして報告していない施設も 1 施設ありました。30 施設のデータでは、転倒・転落の 10～30%程度が損傷レベル 2 以上であることが多いようで、割合が高い施設および割合が低い施設に対しては、損傷レベルの判断をどのように実施しているかを調査し、判断基準を統一する必要があると考えます。

## 参考文献

---

1. The Joint Commission; The Implementation Guide for the NQF Endorsed Nursing-Sensitive Care Measure Set 2009, version 2.0. (Internet: <http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NSC%20Manual.pdf> 2011/03/31 available)

2. 福井次矢監修; Quality Indicator 2010 聖路加国際病院の先端的試み [医療の質]を測り改善する インターメディカ 2010 ISBN 978-4-89996-274-8



No.04' 入院患者の転倒・転落による損傷発生率

分子：医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうちレベル2以上の転倒・転落件数  
 分子包含：介助時、複数回の転倒・転落  
 分子除外：訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落  
 分母：入院延べ患者数

<損傷レベル>

レベル	説明
1	なし 患者に損傷はなかった
2	軽度 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の拳上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
3	中軽度 縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
4	重度 手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
5	死亡 転倒による損傷の結果、患者が死亡した
6	UTD 記録からは判定不可能

施設名	2010/09			2010/10			2010/11			2010/12			2011/01			2011/02			計		
	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合	分母	分子	割合
01.手稲溪仁会病院	14383	0	0.00%	16438	16	0.97%	16041	7	0.44%	15754	15	0.95%	15857	16	1.01%	14699	12	0.82%	93172	66	0.71%
02.市立札幌病院	18694	10	0.53%	19375	3	0.15%	19725	19	0.96%	19309	9	0.47%	18474	9	0.49%	17776	5	0.28%	113353	55	0.49%
03.岩手県立中央病院	18439	4	0.22%	19618	2	0.10%	17995	2	0.11%	19530	2	0.10%	19302	4	0.21%	18110	3	0.17%	112994	17	0.15%
04.山形済生病院	11540	2	0.17%	11407	2	0.18%	11296	1	0.09%	11624	1	0.09%	11289	1	0.09%	11312	0	0.00%	68468	7	0.10%
05.筑波メディカルセンター病院	10764	13	1.21%	10680	6	0.56%	10836	5	0.46%	12057	5	0.41%	12092	10	0.83%	10692	8	0.75%	67121	47	0.70%
06.上都賀総合病院	9138	4	0.44%	9326	4	0.43%	9328	3	0.32%	9235	5	0.54%	9280	7	0.75%	8377	5	0.60%	54684	28	0.51%
07.伊勢崎市民病院	12845	1	0.08%	14024	1	0.07%	13982	4	0.29%	14152	3	0.21%	13154	3	0.23%	12670	3	0.24%	80827	15	0.19%
08.上尾中央総合病院	15826	19	1.20%	15880	11	0.69%	14157	24	1.70%	15419	11	0.71%	15268	10	0.65%	14483	10	0.69%	91033	85	0.93%
09.総合病院 国保旭中央病院	21520	9	0.42%	22321	10	0.45%	21627	5	0.23%	21627	3	0.14%	21653	3	0.14%	19883	4	0.20%	128631	34	0.26%
10.聖路加国際病院	13495	5	0.37%	13929	5	0.36%	14193	1	0.07%	14478	2	0.14%	14065	2	0.14%	13630	2	0.15%	83790	17	0.20%
11.昭和大学病院	19820	33	1.66%	20209	34	1.68%	19800	35	1.77%	21007	34	1.62%	19747	31	1.57%	18648	42	2.25%	119231	209	1.75%
12.茅ヶ崎徳洲会総合病院	9167	4	0.44%	9686	0	0.00%	9510	4	0.42%	9293	0	0.00%	10032	0	0.00%	8722	0	0.00%	56410	8	0.14%
13.新潟県立中央病院	13921	2	0.14%	13998	1	0.07%	14043	2	0.14%	14336	7	0.49%	14560	7	0.48%	13763	1	0.07%	84621	20	0.24%
14.石川県立中央病院	17052	9	0.53%	17788	7	0.39%	16875	7	0.41%	17274	5	0.29%	16753	3	0.18%	15891	6	0.38%	101633	37	0.36%
15.松波総合病院	10416	7	0.67%	11015	7	0.64%	10553	7	0.66%	9784	8	0.82%	10413	7	0.67%	10319	3	0.29%	62500	39	0.62%
16.岐阜県総合医療センター	15217	2	0.13%	16146	7	0.43%	15851	3	0.19%	16223	1	0.06%	15736	0	0.00%	15532	7	0.45%	94705	20	0.21%
17.総合病院 聖隷浜松病院	20686	8	0.39%	21377	4	0.19%	20223	13	0.64%	21056	11	0.52%	20601	5	0.24%	19938	9	0.45%	123881	50	0.40%
18.静岡県立総合病院	17618	1	0.06%	18657	3	0.16%	17576	4	0.23%	18223	5	0.27%	17889	9	0.50%	16649	4	0.24%	106612	26	0.24%
19.小牧市民病院	13735	1	0.07%	14350	4	0.28%	13652	2	0.15%	14418	1	0.07%	14578	3	0.21%	13428	4	0.30%	84161	15	0.18%
20.洛和会音羽病院	15268	8	0.52%	15568	2	0.13%	15246	4	0.26%	15161	5	0.33%	15549	4	0.26%	14579	6	0.41%	91371	29	0.32%
21.武田総合病院	12607	10	0.79%	12997	17	1.31%	13124	13	0.99%	13000	11	0.85%	12994	5	0.38%	12212	5	0.41%	76934	61	0.79%
22.関西医科大学附属枚方病院	19666	10	0.51%	20812	11	0.53%	20442	13	0.64%	20229	11	0.54%	19088	9	0.47%	19719	5	0.25%	119956	59	0.49%
23.大阪警察病院	15186	16	1.05%	16043	12	0.75%	15334	23	1.50%	16271	11	0.68%	15920	10	0.63%	14758	7	0.47%	93512	79	0.84%
24.天理よろづ相談所病院	20853	4	0.19%	21515	1	0.05%	20728	1	0.05%	20588	2	0.10%	19960	5	0.25%	19667	2	0.10%	123311	15	0.12%
25.大和高田市立病院	8348	6	0.72%	8096	7	0.86%	7459	5	0.67%	8241	2	0.24%	8543	7	0.82%	8223	3	0.36%	48910	30	0.61%
26.山口労災病院	8269	4	0.48%	8631	1	0.12%	8394	2	0.24%	8539	3	0.35%	8694	1	0.12%	8055	2	0.25%	50582	13	0.26%
27.市立宇和島病院	11462	8	0.70%	12083	9	0.74%	12069	5	0.41%	11800	6	0.51%	12212	8	0.66%	11300	5	0.44%	70926	41	0.58%
28.高知医療センター	15346	1	0.07%	15778	4	0.25%	15778	6	0.38%	15633	2	0.13%	15289	5	0.33%	14380	9	0.63%	92204	27	0.29%
29.社会福祉法人 長崎記念病院	7896	1	0.13%	8218	2	0.24%	7892	3	0.38%	7813	3	0.38%							31819	9	0.28%
30.中頭病院	10097	9	0.89%	10561	5	0.47%	9983	6	0.60%	10433	7	0.67%	10584	6	0.57%	9569	1	0.10%	61227	34	0.56%
平均値			0.49%			0.44%			0.51%			0.42%			0.44%			0.41%			0.45%
中央値			0.44%			0.38%			0.40%			0.37%			0.38%			0.30%			0.34%
最小値			0.00%			0.00%			0.05%			0.00%			0.00%			0.00%			0.10%
最大値			1.66%			1.68%			1.77%			1.62%			1.57%			2.25%			1.75%

注1

注1: CT等の検査を行って異常が見つからなかった場合を損傷レベル2にカウント



## No.04' 入院患者の転倒・転落による損傷発生率

